

## 付録－ 1

点検表記録様式、記入要領及び記入例

## 1. 点検表記録様式

### 1. 1 点検表記録様式の種類

点検表は、点検の種類に応じたものを使用する。

通常点検 : 通常点検表記録様式

初期点検、定期点検 : 初期点検、定期点検用点検表記録様式

定期点検表記録様式については、道路標識、道路照明施設、道路情報提供装置及び道路情報収集装置の点検に使用できる共通様式として作成した。

ただし、橋梁、トンネル内、及び横断歩道橋に設置されている道路照明、道路標識等については、「橋梁定期点検要領」（平成26年6月 国土交通省道路局）、「道路トンネル定期点検要領」（平成26年6月 国土交通省道路局）及び「横断歩道橋定期点検要領」（平成26年6月 国土交通省道路局）に示された記録様式を基本とするが、場合によっては準用することができる。

<通常点検記録様式>

整理番号		点検会社		局	
年月日	平成	年月日	点検者	管轄事務所	出張所
踏線名		点検結果			
管理番号	附属物名	距離標	所在地	損傷内容	損傷状況
				揺れ・変形・その他	
				揺れ・変形・その他	
				揺れ・変形・その他	
				揺れ・変形・その他	
				揺れ・変形・その他	
点検結果確認者	氏名	氏名	氏名	備考	
点検結果に対する対応					

<初期点検、定期点検の記録様式>

点検表(施設諸元)

種別		管理者		管理番号	
----	--	-----	--	------	--

■位置情報

道路種別		路線名		上・下別	
所在地				距離標 (km)	
緯度		経度		備考	

■構造情報

支柱形式		表面処理 形式		基礎形式	
支柱基部 リップ形状		路面境界部 の状況		灯具種類	
標識設置枚数 及び標識番号		標識板の 取付形式		標識板の落下 防止対策	
ゆるみ止め 対策の有無		合いマーク		制振装置 の有無	
杆基部排水性 向上対策		設置年月		備考	

■設置環境情報

設置環境		海岸から の距離		融雪剤 散布区間		風規制 実施区間	
防雪対策 実施区間		センサス 年度		センサス 区間番号		交通量	台/24h
道路幅員 (m)		歩道幅員 (m)		緊急輸送道路 指定の有無		通学路指定 の有無	

■点検情報

点検種別		点検方法		点検年月日		前回 点検年月日	
点検員 (所属・氏名)				備考			

更新履歴		前回設置年月	
------	--	--------	--

■位置図

■ボンチ絵、写真(全景、その他)等を添付

注1: 緯度・経度については、世界測地系で0.1"単位まで記入する

注2: 距離標、センサス(年度、区間、交通量)については、ある場合に記入する。

点検表(点検結果票)

種別	管理者	管理番号
----	-----	------

■点検結果			対象 有無	点検 状況	損傷程度の評価																対策の 要否	部材の 健全性の 診断			
部材及び点検箇所					変状の種類																				
					鋼部材				コンクリート部材				共通												
部材等	点検箇所	記号	き裂	ゆるみ・腐食	破断	腐食	変形・欠損	ひびわれ	うき・剝離	漏水	その他	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後		
			支柱	支柱本体	支柱本体	Pph																			
支柱継手部	Ppj																								
支柱分岐部	Ppd																								
支柱内部	Ppi																								
支柱基部	リブ・取付溶接部	Pbr																							
	柱・ベースプレート溶接部	Pbp																							
	ベースプレート取付部	Pbb																							
	路面境界部 (GL-0)	Pgl-0																							
	路面境界部 (GL-40)	Pgl-40																							
その他	柱・基礎境界部	Ppb																							
	電気設備用開口部	Phh																							
		開口部ボルト	Phb																						
横梁	横梁本体	横梁本体	Chh																						
		横梁取付部	Chi																						
		横梁トラス本体	Chb																						
	溶接部・継手部	横梁仕口溶接部	Cbw																						
		横梁トラス溶接部	Ctw																						
		横梁継手部	Cbj																						
標識板等	標識板	標識板(添架含む)	Srs																						
		標識板取付部																							
	道路情報板	道路情報板	Sli																						
		道路情報板取付部																							
	その他(灯具等)	灯具																							
		灯具取付部																							
基礎	基礎コンクリート部	基礎コンクリート部	Ebc																						
	アンカーボルト・ナット	アンカーボルト・ナット	Eab																						
ブラケット	ブラケット本体	ブラケット本体	Brh																						
	ブラケット取付部	ブラケット取付部	Bri																						
その他	その他	バンド部(共架型)	Xbn																						
		配線部分	Xwi																						
		管理用の足場・作業台	-																						

■所見(その他特記事項)

--

■点検予定	
点検ができなかった部位	点検予定時期
点検ができなかった理由	点検実施方法

■ボンナ絵、写真

※部材の健全性の診断欄のハッチ(濃いグレー)部は、通常では存在しない点検箇所と変状の種類の組み合わせである。  
 ※点検調査(例)は、各道路管理者の判断により、大型の道路標識及び道路情報提供装置以外についても定期点検を実施する場合を想定し、共通様式として使用できるように作成したものである。

点検表(損傷記録票)

種別		管理者		管理番号	
----	--	-----	--	------	--

■損傷程度の評価および措置(応急含む)

部材名称											
損傷程度 の評価	部材判定	変状の種類									
		鋼部材					コンクリート部材		共通		
		き裂	ゆるみ・脱落	破断	腐食	変形・欠損	ひびわれ	うき・剥離	滞水	その他	
	点検時評価										
	措置後評価										
措置 (応急含む)	実施内容										
	未実施	理由									
		予定時期									
		予定内容									
特記事項											

- ポンチ絵、写真
- ・損傷部位、箇所を記載
  - ・措置(又は応急措置)前後の写真 等

※点検箇所毎につき、なるべく1枚で作成(変状の種類に対する判定区分が、1つでもⅡ～Ⅳと判定された部材毎に作成する)

点検表(板厚調査結果記録票)

種別		管理者		管理番号	
----	--	-----	--	------	--

■板厚調査結果

調査部位					測定厚			管理 板厚 t <sub>c</sub> (mm)	限界 板厚 t <sub>i</sub> (mm)	損傷程度 の評価
部材	調査箇所	記号	測定位置	番号	1回目	2回目	最小厚 t(mm)			
支柱	支柱本体	Pph	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						
	電気設備用開口部	Phh	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						
			左	5						
			右	6						
	柱・ベースプレート溶接部	Pbp	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						
	路面境界部 (GL-40)	Pel-40	0°	1						
			90°	2						
180°			3							
270°			4							
柱・基礎境界部	Ppb	0°	1							
		90°	2							
		180°	3							
		270°	4							
横梁	横梁本体	Cbh	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						
	横梁・ベースプレート溶接部	Cbh	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						
	横梁仕口溶接部	Cbw	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						

※測定位置については、円周方向4箇所以上とし、腐食状況等に応じて測定箇所を増やすなど適切に状態を把握できるよう考慮すること。

※標準的な測定位置については、附属物(標識、照明施設等)の点検要領(案)(平成〇年〇月 国土交通省道路局)付録-3を参照。

## 1. 2 点検表の記入要領

選択項目については、各道路管理者が共通様式とし使用できるよう選択項目を幅広く記載しているため、記入に際しては、適宜、項目を選択し記入すること。

### 1. 施設諸元

#### (1) 種別等

○種別 : 点検対象施設を以下より選択し、記入する。

**【選択項目】**

- ・道路標識
- ・道路情報提供装置
- ・道路情報提供措置（添架物有）
- ・道路照明施設
- ・その他

※道路情報提供装置に標識等（占用物件含む）が添架されている場合は、  
「道路情報提供装置（添架物有）」を選択する。

※道路情報提供装置には、道路情報収集装置を含む。

○管理者 : 当該施設の管理者を記入する。

**【記入例】**

	<第1欄>	<第2欄>
管理者	〇〇地整	△△事務所 □□出張所

○管理番号 : 各道路管理者が定める当該施設の管理番号を記入する。



## (2) 位置情報

○道路種別 : 当該施設が設置されている路線の種別を以下から選択し、記入する。

**【選択項目】**

- ・高速自動車国道
- ・一般国道（指定区間内 高規格）
- ・一般国道（指定区間内 高規格以外）
- ・一般国道（指定区間外）
- ・都道府県道
- ・市町村道
- ・その他

○路線名 : 当該施設が設置されている路線名を記入する。  
なお、同一路線名のバイパス、旧道等に設置されている場合は、路線名の後ろに（ ）書きでその旨を記載する。

**【記入例】**

- 〇〇〇〇号（〇〇バイパス）
- 〇〇〇〇号（旧道）

○上・下別 : 当該施設が設置されている路線の上・下の別を以下より選択し、記入する。

**【選択項目】**

- ・上り . . . . . 終点から起点向きの車線
- ・下り . . . . . 起点から終点向きの車線
- ・上・下 . . . . . 上・下線を跨いでいる場合

○所在地 : 当該施設の所在地を記入する。

**【記入例】**

	<第1欄>	<第2欄>	<第3欄>
所在地	〇〇県	△△市	□□町1-2

○距離標 (km) : km 単位とし、小数点以下3位 (m) まで記入する。  
ただし、距離標が無い場合は、記入しない。

○緯度・経度 : 当該施設の代表箇所の緯度・経度（世界測地系、60進法で0.1秒まで）を記入する。

○備考 : その他位置に関する情報等があれば記入する。

### (3) 構造情報

○支柱形式 : 当該施設の支柱形式を以下より選択し、記入する。

<道路標識・道路情報提供装置の場合>

**【選択項目】**

- ・路側式
- ・片持式（逆L型）
- ・片持式（F型）
- ・片持式（テーパーポール型）
- ・片持式（T型）
- ・門形式（オーバーヘッド型）
- ・添架式
- ・その他

<道路照明施設の場合>

**【選択項目】**

- ・ポール照明方式（テーパーポール型）
- ・ポール照明方式（直線型）
- ・ポール照明方式（Y型）
- ・添架式
- ・トンネル照明
- ・その他

○表面処理形式 : 当該施設の表面処理形式を以下より選択し、記入する。

**【選択項目】**

- ・塗装式
- ・亜鉛めっき式
- ・塗装式+亜鉛めっき式
- ・その他